

DCM ホームマックの森 育樹会

平成29年5月26日、奥州市胆沢区東前川山国有林51林班内において、「DCM ホームマックの森」育樹会が開催されました。

この箇所は、胆沢ダム建設のための土砂を採取した跡地で風が強く、冬は雪が吹きだまり、木の成長にとっては厳しい環境の場所となっています。

DCM ホームマック社では、各地で森に戻す取り組みを実施しており、協定の締結による国民参加の森づくり制度を利用した、社会貢献の森として当森林管理署と協定を締結、カミネッコンを作成し、地域の幼稚園児を向かえて植栽活動を実施してきました。

5年目を迎える今回は、協定区域内の植栽も終わり、平成25年度から植栽した、ヤマハンノキ、コナラ、ケヤキ等の広葉樹の周りの草刈を手作業で行ったあと、今まで植栽した各樹種の生存数や成長を調査しました。

花巻市、北上市、奥州市地域から集まった参加社員17名は、中腰でのなれない作業で、腰を摩りながらも一心に手鎌で草を刈り取る姿には敬服させられました。

協定は今年度が期限となっていますが、引続き森に戻す活動を実施したいとの意向から今後も協定を更新、継続する予定となっています。

開会式



奥州地方森林組合による草刈指導

作業状況



記念撮影

